

# 令和4年度定時評議員会議事録

公益財団法人東京都農林水産振興財団

令和4年度定時評議員会 議事録

- 1 日時 令和4年6月27日（月）午後2時00分～午後3時00分
- 2 場所 東京都立川市富士見町3丁目8番1号  
（公財）東京都農林水産振興財団立川庁舎 講堂  
※ Web会議システムによる出席者は、自宅・職場等の各会場から出席
- 3 評議員の現在数 13名
- 4 出席要件 7名
- 5 出席評議員の数及び氏名 9名 青山 侑  
木村 康雄（※）  
福田 珠子（※）  
小暮 実  
坂本 義次（※）  
山巻 毅  
渡邊 俊夫  
龍野 功  
中野 卓
- 6 出席理事の数及び氏名 2名 岩瀬 和春（理事長）  
村上 ゆり子
- 7 出席監事の数及び氏名 2名 大森 淳子  
傳田 純  
  
※は、Web会議システムによる出席
- 8 議長 渡邊 俊夫
- 9 議事録署名人 龍野 功  
中野 卓

## 10 議題

- 報告事項 令和3年度事業の報告について
- 決議事項 第1号議案 令和3年度決算の承認について
- 第2号議案 評議員・役員の選任について
  - (1) 評議員13名の選任について
  - (2) 理事8名の選任について
  - (3) 監事2名の選任について

## 11 会議の概要

### (1) 開会

進行役を務める阿部管理課長が、評議員会の開会を宣言した。

### (2) 定足数報告

議事に先立ち、管理課長が出席状況を述べ、定款第23条に定める定足数を満たしていることから、本評議員会が成立していることを報告した。

### (3) 開会挨拶

開催にあたり、岩瀬理事長が以下のとおり挨拶を述べた。

(岩瀬理事長)

本日は出席いただき、ありがとうございます。本日は、昨年度の事業報告並びに決算と、評議員、役員の任期満了に伴う新たな候補者の選任について審議いただきます。

長きに渡る新型コロナウイルス感染症の影響に加え、昨今の世界情勢に伴うエネルギーや原材料の価格高騰により、生産者、事業者、消費者の活動に大きな影響が及んでいます。また、3月の福島県沖地震により、火力発電所は未だ全面復旧に至っておらず、今夏・今冬の電力需給に厳しい見通しが示されております。

一方、コロナ対策は段階的に緩和が進み、財団でも先月、青梅畜産センターにて2年ぶりに「畜産体験教室」をリアル形式で開催しました。参加者だけでなく、主催側の職員も生き生きと対応しており、改めてリアル開催の重要性を認識したところです。

当財団では、こうした社会情勢の変化に迅速かつ弾力的に対応するため、東京都や関係団体と連携し、東京の農林水産振興に向けた着実な事業推進と、それを実現するための体制づくりに、今後も積極的に取り組んでまいります。

今年度の取組としては、農業分野では、ウクライナ情勢に係る緊急対策として、資材高騰等に対応するために積極的に収益向上に取り組む農業者へ必要な経費を助成し、経営を後押ししてまいります。また、「東京農業アカデミー八王子研修農場」では、昨年度は第一期生4名を輩出し、今年度は新たに第三期生5名を受け入れています。畜産分野では、新豚舎、新鶏舎への引越しが昨年度をもって完了いたしました。高度な衛生レベルを確保した新施設を活用し、種豚やひなの需要に対して、着実に対応してまいります。林業分野では、先進技術を活用した林業機械の導入や開発を支援する事業を開始し、施業の効率化や生産性を高め、森林循環を進めるとともに、「東京ト

レーニングフォレスト」を通じた専門的かつ高度な伐採・搬出技術者の育成に努めます。

試験研究部門では、東京農業の「稼ぐ力」を高めるため、基礎的な試験研究の継続とともに、小規模・多品目でも高収益や省力化等を実現する「東京型スマート農業」の確立に向けた研究開発を行います。また、「ローカル5G」を活用し、遠隔での農業指導が可能となる農作業の実現に向けた研究開発を進めます。

昨年7月に設置した「東京農林水産ファンクラブ」では、2,000名を超える会員へ向け、農林水産に関するPRや調査を行うとともに、有楽町マルシェを通じた生産者支援等を積極的に実施いたします。

本日は最後に、最近の財団の取組として、国産木材の魅力発信拠点「MOCTION」の令和3年度実績について、ブバルディア新品種第2期シリーズの出願公表について、畜産体験教室の開催について、それぞれ報告いたしますので、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

#### (4) 議長の選任及び議事録署名人の選出

定款第22条の規定に基づき、出席した評議員の互選による議長の推薦を求めたところ、「事務局一任」の声があった。事務局として渡邊評議員に依頼したところ、渡邊評議員が承諾し、議長に就いた。

続いて、定款第27条第2項の規定に基づき、議長の他に2名、議事録署名人の選出を問うたところ、「議長一任」の声があり、議長は龍野評議員、中野評議員を指名し、両評議員が承諾した。

#### (5) 報告事項 令和3年度事業の報告について

議長は理事長に対し、報告事項について説明を求め、渡辺事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

続いて、議長が評議員に対し、質問及び意見を求めたところ、以下の質疑応答があった。

(青山評議員)

改めて財団が実施する事業が多岐に渡っていることを感じ、触発された。

東京農業アカデミーの事業が軌道に乗り、就農に向けて動き出していることは大変喜ばしい。また、多摩産材については、東京都全体の事業の中で、今後、利用拡大をPRする場面が増えてくると思うので、せひアピールを頑張ってください。

公益目的事業という面では、戦後の東京の農林水産業において、都立の試験場が果たしてきた役割は非常に大きいと感じている。都内の農家を訪ねると、例えばブドウ棚の下で、専門として育てているわけではないものの、東京しゃもや東京うこっけいが飼育されていたりする。これは、相当な数が提供されている表れであり、こうした風景が日常的に見られるほど、財団の事業が定着しているという証だと思う。

他の道府県においても、土や地勢や気候が異なる中での専門的・技術的な知見や技術の提供など、都道府県立の試験場が果たしてきた役割は非常に大きい。日本では、農林水産関係の補助金は、欧米など他のOECD諸国ほど手厚くはないが、こうし

た中で、都道府県の試験場が技術や知識の面で頑張り、戦後、飛躍的に生産性を向上させてきた側面がある。今後、東京で新規就農者を増やしていくことを考える上で、試験場の役割はますます重要になってくるので、引き続きこうした点にも重点を置いて取り組んでいただきたい。

(岩瀬理事長)

大変心強いご意見をありがとうございます。

ご指摘のとおり、各都道府県で置かれている環境が違う中、東京都として農業にどのように取り組んでいくかという視点がいかに大事か、というご意見かと思えます。

昨年度には、東京都の統計上の食料自給率が年々下がり続け、四捨五入の結果、遂に0%になってしまったという話がありました。これは他の県にはない状況で、こうした中で試験研究や農業行政をどのように進めていくべきかについて、我々は改めてしっかりと考え直す必要があると考えています。

ましてや、この世界情勢ですので、やるべきことはたくさんあります。今後も頑張ってもらいますので、応援をお願いできればと思います。

さらに意見及び質問を求めたところ、他に質疑等はなく、報告の通り了承された。

#### (6) 決議事項 第1号議案 令和3年度決算の承認について

議長は理事長に対し、第1号議案について説明を求め、事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。なお、決算については、公益認定区分変更に伴い、令和3年度決算書(案)より正味財産増減計算書内訳表及び財産目録について、所定の見直しを行っていることを補足した。

次に、議長が監事に対し、監事監査の結果について報告を求め、大森監事が「監査報告書」を基に、事業報告、計算書類及び附属明細書並びに財産目録等が適切に処理されている旨を報告した。

続いて、議長が評議員に対し、質問及び意見を求めたところ、質疑等はなく、承認について挙手を求めたところ、全員より挙手があり、第1号議案は原案のとおり承認された。

#### 第2号議案 評議員・役員の選任について

- (1) 評議員13名の選任について
- (2) 理事8名の選任について
- (3) 監事2名の選任について

議長は理事長に対し、第2号議案について説明を求め、事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

評議員候補13名、理事候補8名、監事候補2名について1名ずつ表決が行われた。

各評議員、理事、監事について、評議員全員より、原案通り可決することで異議なしの挙手があり、議長が原案の候補者のとおり可決する旨宣した。

以上をもち、決議事項に対する審議を終了した。

審議終了後、議長が評議員に対し、本日の議事全般について質問及び意見を求めたところ、他に質疑等はなく、議長は本日の評議員会への協力に感謝を述べ、議長を降りた。

(7) 閉会

閉会の前に、4月以降の財団の動きとして、今年度に入ってから財団の動きとして、石城森の事業課長より国産木材の魅力発信拠点「MOCTION」の令和3年度実績について、佐藤園芸技術科長よりブバルディア新品種第2期シリーズの出願公表について、西木畜産技術科長より畜産体験教室の開催について、それぞれ配布資料に基づき説明した。

事務局からの報告及び財団運営全般について質問及び意見を求めたところ、質疑等はなく、管理課長が評議員会の閉会を宣言した。

以上、相違ないので、記名、捺印する。

令和4年6月28日

議 長 渡 邊 俊 夫

議事録署名人 龍 野 功

議事録署名人 中 野 卓